

令和8年度「一般入学者選抜」
学力検査 社会科 出題方針

- 1 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにする。
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにするとともに、現代社会の諸課題に対する理解の程度をみることができるようにする。
- 3 統計や地形図、写真などの諸資料を活用し、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにする。
- 4 現代社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにする。

令和8年度本検査「社会」学力検査について

1 問題構成

昨年との変更点として大問の順番を変更しているが、全体の構成については大きな変更点はない。それぞれの内容は、次のとおりである。

大問1: 総合問題	(12点)	大問2: 歴史(前近代史)	(16点)
大問3: 歴史(近・現代史)	(16点)	大問4: 地理(世界地理)	(15点)
大問5: 地理(日本地理)	(16点)	大問6: 公民(国際)	(6点)
大問7: 公民(経済)	(9点)	大問8: 公民(政治)	(10点)

2 領域及び分野

大問1の総合問題は地理的分野、歴史的分野、公民的分野の各分野から、大問2・3は歴史的分野から、大問4・5は地理的分野から、大問6・7・8は公民的分野から出題した。各分野の内容をバランス良く配置し、社会科として総合的に学習の成果をみることができるようにした。

3 出題内容及び予想平均点

「基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができる問題」を、各分野において出題した。

「現代社会の諸課題に対する理解の程度をみることができる問題」を出題した。具体的には、大問1(4)、大問4(5)、大問7(3)、大問8(3)である。

「諸資料を活用し、社会的事象を判断・分析する力をみることができる問題」を出題した。具体的には、大問1(2)、大問4(2)、大問5(4)、(5)、大問6(1)、大問7(1)である。

「社会的事象について、思考・表現する力をみることができる問題」を、歴史的分野、地理的分野、公民的分野からそれぞれ1問ずつ出題した。具体的には、大問2(4)、大問5(3)、大問8(2)である。

歴史的分野において、できごとなどを年代の古いものから順に並べ替える問題を出題した。具体的には、大問3(4)である。

予想平均点は50点から55点で、昨年度の本検査(平均51.7点)と同程度と考えている。

(問合せ先) 千葉県総合教育センター学力調査部
電話 043-212-7588